

# 1章

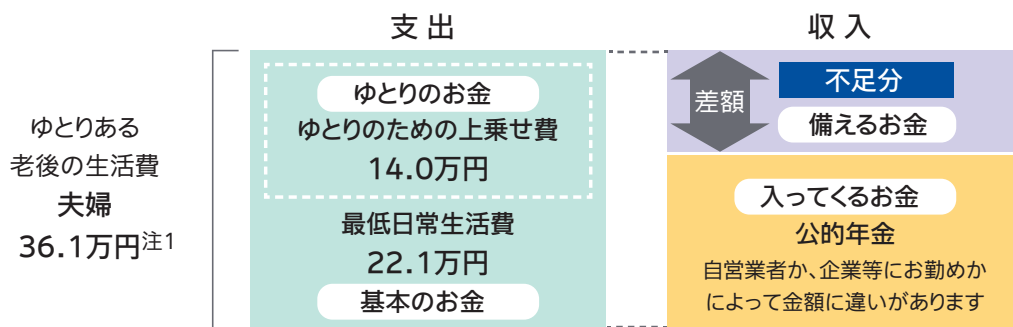
老後のお金

## 老後に必要なお金の準備

### 「老後の生活」のためのお金は 公的年金だけで足りるのか？

Point

ゆとりある老後の生活費をまかなうには、  
公的年金だけでは足りないと言われています



月額(年額表示を除く)

		支出	収入	差額	不足分
		ゆとりある老後の生活費	公的年金額 <sup>注2</sup>	月額	年額概算
夫婦2人	自営業者の方	36.1万円	13.0万円	23.1万円	277万円
	企業等にお勤めの方		22.0万円	14.1万円	169万円
单身	自営業者の方	25.3万円	6.5万円	18.8万円	226万円
	企業等にお勤めの方	(夫婦の7割として 当社で計算)	男性	15.5万円	9.8万円
女性			12.3万円	13.0万円	156万円

注1:ゆとりある老後の生活費:生命保険文化センターのアンケート「生活保障に関する調査(令和元年度)」

注2:公的年金:みずほ総合研究所「みずほインサイト 2021年1月22日:2021年度の新規裁定者(67歳以下)の年金額の例」世帯別の年金月額の例(2021年度)をもとに当社で作成

夫婦2人・企業等にお勤めの方:夫が平均的年収(平均標準報酬が43.9万円)で40年間就業し、妻がその期間全て専業主婦  
单身・企業等にお勤めの方:男性は平均標準報酬43.9万円、女性は同28.3万円、40年間就業

まとめ

生活費と公的年金との差額が  
将来への備えとして必要になります。

どれに  
あてはまりますか？



ヒント

将来受給できる年金の見込み額は、日本年金機構のインターネットサービス「ねんきんネット」を利用することで、試算できます。誕生月に日本年金機構から送られる「ねんきん定期便」も参考にしてください。



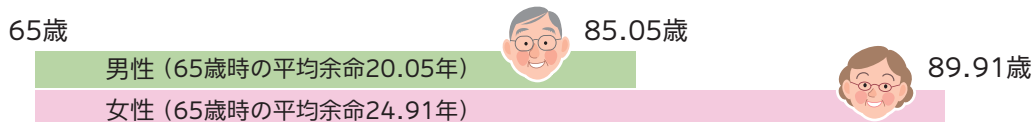
2022年1月現在

# 老後生活全体では どのくらいのお金が必要ですか？①

## Point

まず老後生活の期間を考えます。目安として平均余命を使います。平均余命とはある年齢の人が平均であと何年生きるかを示す指標です

### ■ 老後生活の期間 <65歳の方の例>



夫婦の場合、男性の平均余命の期間が夫婦2人の期間となります。



### ● 年齢別の平均余命と年齢別寿命

現在の年齢 ①	男性		女性	
	平均余命 ②	年齢別寿命 (①+②)	平均余命 ③	年齢別寿命 (①+③)
0歳	81.64年	81.64歳	87.74年	87.74歳
20歳	61.97年	81.97歳	68.04年	88.04歳
40歳	42.57年	82.57歳	48.40年	88.40歳
60歳	24.21年	84.21歳	29.46年	89.46歳
65歳	20.05年	85.05歳	24.91年	89.91歳
80歳	9.42年	89.42歳	12.28年	92.28歳

平均寿命は0歳の平均余命です

出所：厚生労働省「令和2年簡易生命表の概況」をもとに、当社で年齢別寿命を定義し算出

## まとめ

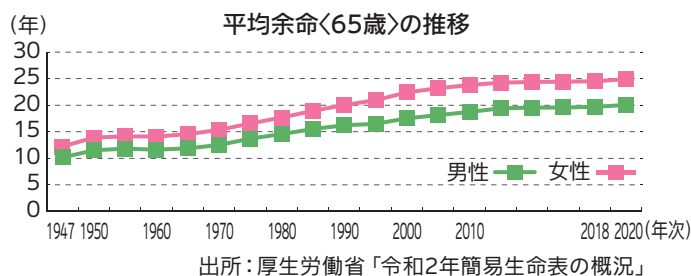
老後生活は、平均寿命でなく平均余命で考えるとより長い期間になります。

次ページへ

## データ

65歳の平均余命を1947年と2020年とで比較すると老後の期間が長くなっていることがわかります。

	1947年	より長寿	2020年
男性	平均余命 10.16年	+9.89	20.05年
	年齢別寿命 75.16歳		85.05歳
女性	平均余命 12.22年	+12.69	24.91年
	年齢別寿命 77.22歳		89.91歳



# 1章

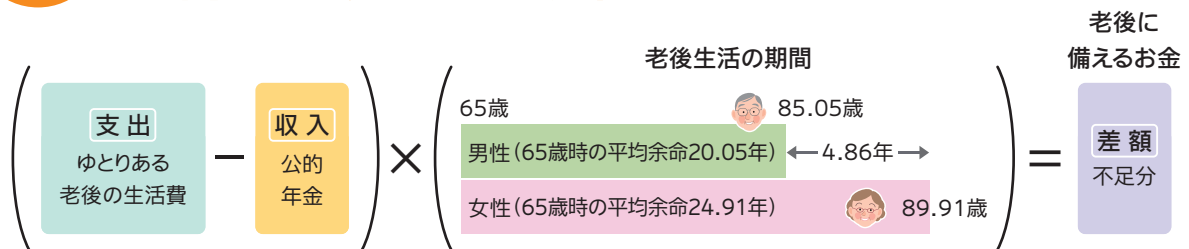
老後のお金

## 老後に必要なお金の準備

### 老後生活全体では どのくらいのお金が必要ですか？ ②

Point

前ページまでのデータを合わせると、老後生活全体の期間に必要なお金は以下のようになります



支出を最低日常生活費にすると、不足分は少なくなります。

カッコ内は年額		夫婦2人の期間 20.05年	妻1人の期間 4.86年	総額	差額	
夫婦2人	支出	ゆとりある老後の生活費	8,700万円(433万円)	1,500万円(303万円)	10,200万円	差額 不足分
	収入	自営業者の方	3,100万円(156万円)	400万円(78万円)	3,500万円	
		公的年金	企業等にお勤めの方	5,300万円(264万円)	700万円(150万円)	
单身	男性	支出	ゆとりある老後の生活費	6,100万円(303万円)	6,100万円	差額
		収入	自営業者の方	1,600万円(78万円)	1,600万円	
	公的年金		企業等にお勤めの方	3,700万円(186万円)	3,700万円	2,400万円
	女性	支出	ゆとりある老後の生活費	7,500万円(303万円)	7,500万円	差額
		収入	自営業者の方	1,900万円(78万円)	1,900万円	
	公的年金		企業等にお勤めの方	3,700万円(148万円)	3,700万円	3,800万円

出所:P.5~6と同じ。ただし妻1人期間の生活費・年金額は当社で算出  
いずれも概算値です。

参考例として  
目安にしてください。

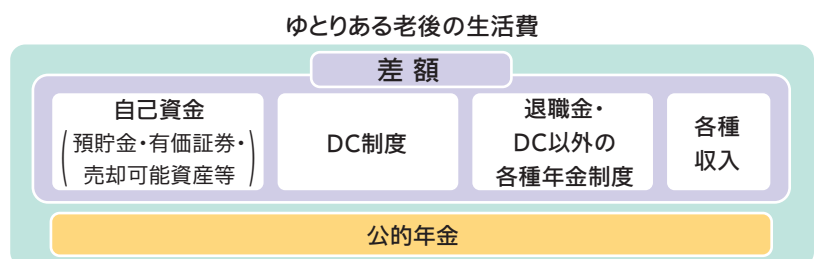
まとめ

ご自身の状況をもとに  
老後生活のお金を考えましょう。



ヒント

老後のお金の差額(不足分)をどのようにまかなうのか、DC制度の活用も含めて資金計画が必要です。資金計画のもとになるのは生活設計(ライフプラン)です。



詳しく  
知る

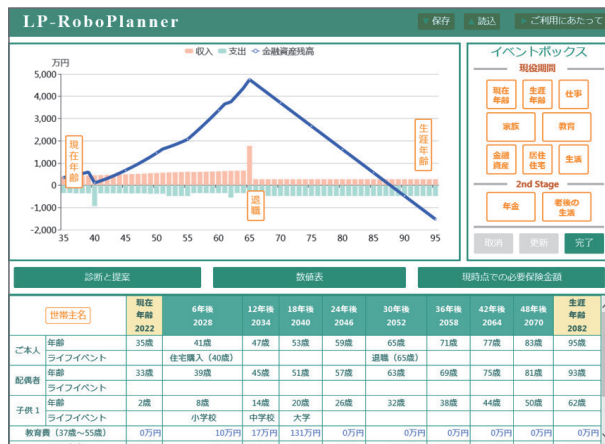
# 老後の生活設計

## ■生活設計(ライフプラン)の必要性

公的年金等だけでは老後の生活費用が不足することがあります。現役時代から老後の資金計画を考えましょう。アンサーネットには「ライフプランシミュレーション」が用意されています。現役時代の生活設計を考慮しながら、DC制度も含めて、老後の資金計画や運用目標を試算しましょう。

### アンサーネットTOPページ

ご家族の状況、金融資産など前提条件を入力すると結果が表示されます。



### ●診断と提案

退職時の金融資産状況や生涯にわたる収支状況の分析と診断が表示されます。

### ●数値表

今から生涯年齢までの毎年の収入・支出・税金・社会保険・年金・金融資産等の数字が表示されます。

## ■資金計画の工夫

シミュレーションをした結果、目標金額が1,000万円になったとします。仮に毎月2万円を25年間、利回り2.0%で運用すると、約776万円にしかなりません。積立額、積立期間、運用利回りを工夫することで目標金額を達成できます。

	毎月の積立額	積立期間	運用利回り	積立終了時の資産残高	目標金額 1,000万円
	2.0万円	25年	2.0%	約 776万円	約224万円不足
積立額を増やす	2.6万円	25年	2.0%	約1,009万円	達成
積立期間を長くする	2.0万円	31年	2.0%	約1,026万円	達成
運用利回りを高くする	2.0万円	25年	3.9%	約1,004万円	達成

運用益に対する税金を考慮していません。

アンサーネットのシミュレーションのうち、お金と暮らしの計算ツールの金融資産計画電卓で上記計算ができます。